

第 36 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2009 年 4 月 28 日(火) 16 時 10 分～17 時 20 分

場所: 管理棟 2 階 第二応接室

出席者: 横山孝男部会長、栗野宏、松田則男、小山明夫、新関久一、神戸士郎、奥山澄夫、小池邦博、高畑保之、山崎洋一郎各委員、小室秀一編集局員、斎藤ひろみ編集補助員、細谷朋宏氏((株)ぎょうせい)

欠席者: 大町竜哉委員、鈴木清一委員、片山維子氏

【配布資料】

[資料 36-1] 大竹校長直筆日記

[資料 36-2] 日刊工業新聞掲載記事

[資料 36-3] ★山形大学工学部百年史編集局★参考資料ダウンロード [2 枚/3 ページ]

[資料 36-4] 100 周年記念誌(Journal) 第 36 回 部会資料 2009 年 4 月 28 日 [15 枚]

[資料 36-5] 100 人の声 (生体センシング機能工学専攻) 4/28 現在 [3 枚/6 ページ]

[資料 36-6] 山形大学工学部 100 周年記念誌「百人の声」の執筆依頼 社団法人米沢工業会

[資料 36-7] 百周年記念誌掲載事例 2. 現代山形大学工学部事情 ⑤最… [2 枚/3 ページ]

[資料 36-8] 米沢イノベーションの祖に学ぶ、他 [A3 版、4 枚/4 ページ]

[資料 36-9] 部局史進捗状況一覧 (2009.4.28) [A3 版]

[資料 36-10] 電情系部局史進捗状況 平成 21 年 4 月 28 日 小山明夫、奥山…

[資料 36-11] 機械システム工学科 部局史 進捗状況報告 200.4.28 大町竜哉 (資料 36-6 の裏)

[資料 36-12] 通史執筆のためのガイド 2009.4.28 百年史誌編纂室 [1 枚/2 ページ]

I) 報告事項

1. 横山部会長から大竹初代校長の令孫宅訪問と資料入手に関する報告があった。
 - ・ 化学系 OB の紹介により、小関先生(K48 修)と共に大竹初代校長の孫にあたる大竹俊樹先生 (元山梨学院短期大学教授、専門:分子生物学)宅を訪問し、未発表の資料(例:資料 36-1)を借りてきた。
2. 記念式典フォーラムを開催するにあたり、当部会に資料借用の依頼があった。全面的に協力する。
3. 小室編集局員から、日刊工業新聞の掲載記事(資料 36-2)に当部会の資料(開校式の写真)が使用されている旨、報告があった。
4. 斎藤ひろみ編集補助員から、資料 36-3 に基づき様々な資料を web サーバに収納し参照できるようにした旨、報告があった。部会委員用であり一般公開はしていない。ID ならびにパスワードは小山委員が設定した。執筆依頼者には必要に応じて ID とパスワードを伝える事とした。

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌

(1) 「百人の声」原稿執筆依頼状況 (資料 36-4、36-5、36-6)

- ① 応用生命システム工学科の状況について新関委員から 6 名の承諾があった旨、資料に基づき報告があった。
- ② 物質化学工学科の状況について、高畑委員から資料に基づき報告があった。5 件の原稿の到着があり、2 名に電話をかけて依頼した。また 1 名から原稿遅延の連絡があった。
- ③ 情報科学科の状況について、小山委員から資料に基づき報告があった。1 件の原稿が受理済み、他 6 名に執筆依頼済みである。
- ④ 共通講座の状況について、小池委員から大友先生の原稿(資料)が寄せられた旨、報告が

あった。

- ⑤ 生体センシング機能工学専攻の状況について、神戸委員から資料 36-5 に基づき報告があった。5 件の原稿が入稿した。また、前真室川高校長からは執筆辞退の連絡があったのだが、松田先生から改めて執筆依頼することとした。
- ⑥ 米沢工業会の状況について、山崎委員から資料 36-6 に基づき報告があった。2 件の原稿を受領した。5 月末を目標に原稿の収集を行う。

(2) 記念誌掲載の具体的事例推薦の件 (資料 36-4、36-7)

- ① 今春、機能高分子工学科修士修了し、現在アルケマ社に入社された嶋小百合さんの特集・理系ガールズへ推薦する旨、栗野委員から提案があった。
- ② 西岡昭博准教授(地域共同研究センター)を最先端ラボラトリーもしくは産官学連携研究へ推薦する旨、栗野委員から提案があった。
- ③ 加藤宏朗教授(共通講座)を最先端ラボラトリーもしくは産官学連携研究へ推薦する旨、小池委員から提案があった(資料 36-7)。
- ④ 高澤由美さん(VBL、ポスドク)を文理融合へ推薦する旨、栗野委員から提案があった(資料: よねざわまち歩き会開催)。
- ⑤ また現在では大学教員を研究面のみならず教育面からも評価しようという時代の趨勢があり、ベストティーチャー賞の選考・表彰が行われている。そこで教育者という視点からも記事を企画・掲載することが提案された。

(3) (株)ぎょうせいの進捗状況

- ・ 資料 36-8、特集 1 の四つの象限と工学風土論「象限 A-個人/直接 米沢イノベーション」ならびに「象限 B-社会/直接 米織がもたらした研究風土」の紹介があった。
- ・ 取材に基づき、村田氏の執筆による。各委員は目を通し、意見などを(株)ぎょうせいならびに編纂室までメールするよう、要請があった。

2. 100 年史

(1) 部局史の進捗状況報告

- ① 部局史の進捗状況に関して、栗野委員が一覧表を作成した(資料 36-9)。
- ② 機械システム工学科に関して、大町委員の資料 36-11 に基づき一覧表に記載した。
- ③ 電情系に関して、小山委員が資料 36-10 に基づき報告した。
- ④ 共通講座に関して小池委員から以下の報告があった。
 - ・ 執筆依頼をしていた菅野先生が体調を崩されたため、中村先生に執筆の依頼をしたところ快諾が得られた。今年の 8 月を目指して執筆中である。
 - ・ 3 講座体制になってからは高橋眞映先生に執筆を依頼している。
- ⑤ 物質化学工学科に関して、高畑委員から作業が遅れているので、鋭意進める旨報告があった。
- ⑥ 米沢工業会に関して、山崎委員から工業会誌のための原稿を利用して作業する進める旨、報告があった。

(2) 通史執筆のためのガイド

- ① 小室編集局員から通史執筆について、資料 36-12 に基づき説明があった。
- ② 50 年史までの編纂では新聞記事などの伝聞情報が多かった。百年史ではなるべく原典、原資料に基づいて執筆を進めていただきたい。
- ③ このガイドは部会員でも参照可能なウェブサーバのディレクトリで公開する。

III) その他

1. 渡辺克巳先生、片山維子さんに部会の手伝いをさせていただくことになった。
 - ・ 渡辺克巳先生には執筆を担当していただく。
 - ・ 片山維子さんは編纂室を執務室として使用する。資料の収集や調査の手伝い、また手紙や原稿の電子データを行っていただく。また部会員から要望があれば対応する。

2. 諸経費について
 - ・ 取材や執筆依頼用の切手、また返信用切手、コピーなど経費が発生する作業がある場合は創立 100 周年記念事業実行委員会に交渉するので、横山部会長まで報告、連絡、相談する。
 - ・ 封筒は創立 100 周年記念事業実行委員会用のものがある。この封筒を用いることで郵送代は実行委員会からの支出になる。封筒は企画・総務にある。また編纂室でも用意する。

3. 次回の会議は 5 月 27 日 (水) 16 時 10 分から 第 1 応接室(予定)

2009 年 5 月 27 日